

生涯学習だより

問 教育課 生涯学習係 ☎(83)7021

ジュニアリーダースクールの活動紹介

青少年の健全育成のため、一年間を通してグループで体験活動を行う「ジュニアリーダースクール」を実施しています。今年度も登録した小学4～6年生が、伝承教室やSDGsの学習など、仲間とともに協力して活動を進めています。



分たちの故郷の伝統芸能を伝えてくれる子を一人でも増やしたい。いつの日か、この子らが自分の子どもに、この体験を伝えてくれたら嬉しい。」と笑顔で話してくださいました。

SDGsの学習

6月より大名行列保存会の方から、奴踊りを教わっています。子どもたちは、「友達と一緒に楽しんでいる。」松田の歴史を学べて勉強になる。」と頑張っています。会長の長谷川聡さんは、「子どもは、覚えるのが速くてすごい。自



奴踊りの練習



SDGsの新聞作り

「大変だったけどSDGsについて学べてよかった。」と話していました。今後、SDGsについては、学びを深めていく予定です。「SDGs未来都市松田」を担う子どもたちが、確かに育っています。

松田 文化財探訪

続・町指定文化財とその周辺 その24

文化財保護委員 鈴木 一行

中尾農道に沿って(十二) 最明寺史跡公園③

寺伝によれば荒廃した最明寺(西明寺)を復興するため、文明元(1469)年に賢昌が寺を大井町金子に移します。この辺りの事情は正確な史料がないために不明なのですが、興味深い史料が『秦野市史』に載せられています。それは、秦野市柳川の土豪熊沢主水が父の50回忌のために白米一石などを寄進したことに対し、最明寺が永正2(1505)年2月に出した請取状です。これにより熊沢氏が移転前後も檀那(経済的援護者)であったことがわかります。

氏も最明寺の檀那として想定できるのでは」と述べました。しかし、この事を示す史料はありません。源延の兄景廉は頼朝から遠山荘(岐阜県)を与えられ、その子の景朝は荘内岩村に拠って遠山氏を称します。その後、一族の中で堀越公方足利政知の伊豆下向に従い、やがて宗瑞の家臣となる者が出てきます。それが松田惣領を本領とし、延命寺を建立した遠山直景です。この遠山一族は菅蒲や柳川も領地としました。そして、柳川には「遠山氏屋敷跡」と伝えられる地もあります。この時、熊沢氏は遠山氏の配下にあつたのでしょうか。

この文書が出された翌月、関東では長享の乱(20年近く続いた山内・扇ヶ谷の両上杉氏の争い)が終結し、今度は小田原周辺の支配を進める伊勢宗瑞(北条早雲)が両上杉氏と対立していく事態となります。この時期、熊沢氏が誰に仕えていたかは不明です。前回、「源延が出た加藤(遠山)

加藤景廉を祖先とする遠山氏が、源延のことを知らなかったとは考えられません。しかし、最明寺には遠山氏との関係を示す資料は見当たりません。このことをどう解釈すればよいのでしょうか。



最明寺善光寺堂 (大井町金子)